



令和6年6月
定例会

美作市 議会だより

第10号
令和6年8月20日
発行

おもな内容

一般質問	2
議案等審議結果	7
委員会報告	8
市議会からのお知らせ	12



一般質問

◆一般質問については、各質問者が投稿したものであり、文責は質問者にあります。
◆6月定例会の一般質問発言順に掲載しています。
◆各議員の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問の様子(録画映像)を見ることが出来ます。



◆助産院について

問 助産院の開設や運営について市との関係性は。

答 助産院は岡山県への開設申請となり、直接関係を有していません。運営も同様に市が直接関わることはないが、産前産後ケアサービスを助産院と委託契約を締結し、妊産婦が助産院を利用される支援を実施してきた。本年度からは新たに産後デイサービスの助産院利用の支援も開始した。

◆美作市消防本部の体制について

問 消防本部の体制は。大原出張所

が老朽化しているが、建替え等の計画は。

答 毎日勤務者21人、交代制勤務者44人体制。女性職員の活躍促進、産休育休取得、長期研修及び出向職員の補充が必要である。大原出張所の増改築は現状困難。

市長答弁：大原出張所建替え等の中長期的な計画はつくればよいが、場所の選定は限定される。

○他の質問：「もうもう工房跡地整備の進捗状態をたずねる」、「観光局について」、「ハワイ、カウアイ島姉妹縁組話のその後について」、「全国、自治体の25年後の美作市は」、「味楽留キャビンについてたずねる」



◆移住定住者への受け入れ体制について

問 移住相談の窓口や対応はどのようにしているのか。移住定住を促進するため、移住者のアドバイスを活用してはどうか。

答 移住定住に向けたホームページをリニューアルし、子育て世代に向けた支援制度等の内容を拡充させ、移住定住の検討材料を発信している。相談対応では、電話、窓口での対面、オンライン面談等を実施。移住者の力もお借りし、移住支援におけるアテンド、アドバイス等の在り方について検討したい。

◆JR 林野駅トイレについて

問 駅舎東側のトイレが汚く、利用できないと市民の声があるが、現状と対応を尋ねる。

答 駅舎等の管理を行う事業者が

清掃しているが、行き届いていない。早急に専門清掃業者に大掛かりな清掃を依頼する。その後、委託業者の選定も含め今後の対応を検討する。

○他の質問：「透析治療者へのサポートについて」、「消防団水出し操法の訓練場所について」



◆観光促進について

問 市への観光客減少をどう捉えているか。①旧6か町村の観光促進について。②3宿の連携について。③大原宿の活性化と道の駅の整備について。

答 ①市内6地域の各観光協会等からなる美作市観光協議会で、観光誘客等を協議してきた。集客が少ない地域の対策では、地域資源を活かした観光商品の開発に取り組んでいる。②美作

市、佐用町、智頭町、各市町の観光協会、智頭急行(株)で組織する因幡街道3宿連携会議にて、宿場町を女性目線で見た情報をインスタグラムで発信。③地元の方による古町町並み保存会を再構築中で、そこで活性化策の議論を進めたい。道の駅整備は、西栗倉村の道の駅との距離間隔等を考慮すると、候補地の可能性は低い。既存の楽市楽座の活性化を研究する。

○他の質問：「みまさかてくてく健康アプリについて」、「空家状況について」



たむら ひであき
田村 秀昭



◆市内公共交通体系の再構築について

問 新市庁舎完成に合わせた交通体系の再構築をしないのか。高速バス美作インター停留所の移設は。

答 新庁舎へのアクセスは、バス路線の変更を検討。新庁舎移転後の人の流れやDXの推進による変化を見極めながら、ドアツードア型を重視した交通システムの構築を進めたい。高速バス停の移設は、引き続きバス会社や高速道路会社との協議を進め、併せて取り組む駐車場整備は順次着手する。

◆持続可能な林野高校とすることのために必要なこと

問 市内中学生の同校への進学状況は。他自治体のような県立高への補助や支援は。

答 市内中学校からの進学率は14%。林野高等学校後援会に対し、助成金150万円を交付。県費にて地域共同活動コーディネート教育、地域連携、キャリア教育、国際交流、通学手段等を支援、検討する。

○他の質問：「美作市内小中学校の集団宿泊的行事の在り方について」、「美作市第3期『まち・

ひと・しごと創生総合戦略』策定に向けた工程と市民からの意見聴取について」



わだ いさお
和田 いさお



◆美作市の姉妹都市協定の状況について

問 姉妹都市締結の状況について。

答 旧作東町が国際的な友好関係を育み、全世界に愛と友情と平和への道を開くことを目的に、現在3つの国際都市(昭和63年にフランスのサン・ヴァランタン村と、平成6年にオーストリアのサンクト・ヴァレンティン



▲バレンタインパーク作東

市と、平成9年にカナダのサン・ヴァランタン市)と姉妹縁組を締結している。サン・ヴァランタン市とは、姉妹縁組20周年を記念し、平成29年に姉妹縁組の再調印を行い、交流を継続している。他2都市とは、交流が停滞している。

○他の質問：「学校運営協議会についてと美作市の教育ビジョンについて」



すなみ よしお
角南 良雄



◆令和6年6月から始まる定額減税について

問 定額減税対象金額4万円未満の方は、1万円単位で切り上げて調整給付が行われ、国の制度ではあるが、不公平感を感じる。どのように定額減税されるのか。

答 所得制限はあるが、納税義務者及び配偶者を含めた扶養親族1

◆人口減少対策について



すずき えつこ
鈴木悦子



人につき所得税3万円、個人住民税1万円が減税される。非課税世帯及び住民税均等割のみの方については、令和6年度から新たにその世帯となった世帯主に対し10万円支給され、対象世帯に18歳未満の児童がいる場合、児童1人当たり5万円が支給される予定。例えば、所得税と住民税の合計減税額が3万2千円（4万円未満）の場合、差額の8千円ではなく、1万円が給付される。市民税の減収分を9,300万円見込んでいるが、国から全額補填される。

○他の質問：「森林環境譲与税について」、「認知症の方の行政手続きについて」、「大芦高原雲海温泉改修工事及び運営について」

問 美作市では、1年に生まれる子供の人数が100人を切る状況である。原因は若年女性人口の減少とされている。減少を食い止めるため、女性ターゲットの事業を進めてはどうか。例えば、女性を雇用した市内企業に奨励金を増額することや、育児休業中に助成金を交付する、子育てと仕事が両立可能な雇用の場となる企業誘致を目指す等が考えられる。若年層が望む雇用の改革こそが一丁目一番地である。その上で「女性に優しいまちづくり」条例の制定を提案する。

答 第3期総合戦略会議、子ども政策会議の中で意見を出し合い、人口減少問題に取り組んでいく。市長答弁：女性に特化した支援の給付金等、具体的な措置内容を持った条例案を研究することには大賛成である。

○他の質問：「武蔵の里整備について」



くらち しげお
倉地重夫



◆加齢性難聴者の補聴器購入費の助成について

問 補聴器購入の助成に取り組んでいる自治体数が1年前には35自治体であったが、246自治体へと増加している。難聴は、認知機能低下の大きな起因となっている。加齢性難聴者の補聴器購入の助成について市の取り組みについて尋ねる。

答 令和4年度の聞き取り調査では、ほとんど聞かない等の回答が4割の内、専門医の受診者は3割、補聴器の使用は1割と低いものであった。加齢性難聴の進行予防対策、加齢性難聴に起因する事象（認知機能・コミュニケーション）への予防対策の一つとして、補聴器購入について対応の必要性を感じている。県内市町村等の助成状況や国・県の動向に注視し

ながら、補聴器購入助成に係る対応を検討していきたい。

○他の質問：「儲かる農業について」、「オーガニックビレッジ宣言について」



なかた ゆうすけ
中谷祐輔



◆消滅可能性自治体について

問 2050年までに20代から30代の女性が半減し、消滅する可能性があると分析結果が出ており、美作市は消滅可能性自治体に該当する。対策後すぐに結果がでる問題ではないが、私自身も生まれ育った美作市をいつまでも残したい。市としての考えは。

答 県内27市町村のうち10市町村が消滅可能性自治体であると指摘された。しかし、美作市は2050年の若年女性人口減少率が前回より改善し、県内10

市町村のうち10番目の51.1%と消滅可能性自治体を脱却できる位置にある。人口ビジョンを見直し、出生者数、就業者数、転入超過数の増加等に繋がる施策を重点的に考え、人口減少を食い止めるとともに美作市への定着に向けて知恵を絞り取り組んでいく。

○他の質問：「美作北小学校運動場入り口について」



あんどう いさお
安藤 功



◆限界集落の現状について

問 65歳以上の高齢者が集落人口の50%以上を占め、社会的維持が困難とされる限界集落であるが、そこに暮らす方々をどのように守っていくのか。自助・共助は既に破綻状態ではないか。

答 市内215地区の91地区が限界集落に該当する。危機的集落は

勝田の楮地区、大原の金谷地区、美作の旭町地区の3地区。令和5年度より集落機能の維持が困難な地域や不安のある地域に対し、巡回普及員を配置している。楯並管内を対象エリアとしたモデル事業で、必要な支援を的確に実施することを目指している。今後も基盤が揺らいでいる地域への事業展開・拡大を検討する。金谷地区は、巡回普及員配置の楯並エリアに隣接しているため、同地区まで活動を広げることが可能と考える。

○他の質問：「令和6年度の『子ども政策会議』の取り組みと方向性について」、「すべての人に優しいまちづくりについて」



にしむら たいじ
西村 大司



◆産業振興策について

問 市内の公的産業団地の事業用

地は完売した。県を始め他の自治体では企業誘致に注力している。市の今後の産業振興策として①新たな産業団地の整備はしないのか。②地域振興や経済活動の活性化に期待がかかる美岡道各ICの活用策として産業団地整備等の計画は。

答 ①新たな企業の誘致には労働力の提供が前提となる。市内企業からは、働き手がいれば業務拡張したいとの声があり、労働力確保につながる取り組みに力を入れない。今後は、5億円以上の大規模投資に対する補助金を創設し、支援する予定。②産業団地の造成は、販売が確実視される場合のみ行う。IC付近は製造工場、物流施設等の開設に優良な場所となるため、企業の進出意向があれば、土地開発公社で対応したい。

○他の質問：「水害の時期を迎えて」



やまもと まさき
山本 真樹



◆高校生通学費補助について

問 過去数回、同様の質問をし、その都度調査研究・検討するとの答弁であるが、検討した具体的な内容は。林野高校から自宅までの距離の通学費補助や、林野高校に通学せずとも林野高校を基準に算出した補助等が考えられないか。

答 恒久的な財源の問題、市内唯一の林野高校に通う生徒を優先的に支援するか、市内外へ通う高校生世帯を一律に支援するか等、制度設計が難しい。

市長答弁：実現可能かももう少し具体的に検討する。

◆郊外における商業施設の課題について

問 東栗倉JA給油所が本年2月より営業時間が8時半から17

時に変更され、利用しにくいと
の声がある。市としてJ Aに
対し、何らかの策や提案は考え
られないか。

○地域唯一の給油所で、利用者が
減らない取組みが必要。事業所
と協議する場を設けたい。

○他の質問：「指定管理施設につ
いて」、「武蔵の里及び周辺整備
について」



和田 広宣
ひろぶみ わだ



◆子供たちに優しい街づくり
について

○市の大切な宝、未来そのもので
ある子供たちを担当課だけで
なく、市全体で応援するという
意味で「子供にやさしい街づく
り宣言」や条例を制定し、基本
理念、本気度を市内外に示した
上で、子ども政策を進めるべき
と考えるが、市の考えは。

○市長答弁：宣言の中に具体的施
策を盛り込むのは難しいが、現
在取り組んでいる様々な施策
を体系化すれば、条例の形にし
ていくこともあり得る。

◆一人暮らし高齢者の見守り
緊急通報装置について

○一人暮らしの高齢者が、急に具
合が悪くなった時に、ボタンを
押すだけで近所の人に駆けつ
けてもらえる緊急通報装置の
設置状況は。近隣市町村同様に
個人負担無償化はできないか。

○令和5年度時点で60件設置。使
用料（機器貸与料金）無償化は、
近隣自治体の内容等、詳しく調
査し検討する。



森元 末信
すえのぶ もりもと



◆防災・減災に関する専門的
人材について

○豪雨災害、土砂災害、南海トラ
フ地震等に対応するために防災
の専門性を有する外部人材（退
職自衛官の防災マネージャー
等）採用の考えは。

○地域防災アドバイザーは、県単
位で制度化されており、市内に
1名の講師が在籍。気象防災に
関しては、岡山気象台の美作担
当チームから支援を受けている。

市長答弁：自衛隊日本原駐屯地
との交流もある。間口を広げ研
究する。

◆災害時の水の確保と井戸に
ついて

○能登半島地震では断水が長期
化し、生活用水確保が課題とな
り、井戸が注目された。利用で
きる井戸をどう考えるか。

○防災計画の中で井戸は、避難所
設置や水の確保に努めるとある
が、設置数の調査や活用計画の
作成は行っていない。防災井戸
マップの作成や公共施設におけ
る井戸の必要性を検討する。



青山 慶
あおやま けい



◆美作市内の中学校通学方法
について

○中学校の通学方法格差をどう
捉えているか。野生動物の生息
範囲拡大により、生徒の安全性
が不安視される状況が見受け
られ、対策が必要と考える。民
間バス等の活用により、全中学
校区のバス通学が実現可能と
ならないか。

○野生動物により通学が危険な場
合、スクールバスの臨時運行で
対応。スクールバスの運行は、
市全体での公共交通の活用を調
整する必要がある。遠距離通学
の基準統一には、各中学校区の
考え方の統一を検討する必要が
ある。改変していく計画と地元
協議の合意形成が一体となって
調整されなければならない。
市長答弁：公共交通機関とそれ
らを補完する形でのスクール

バスという在り方が不可能ではないと考える。教育委員会と市長部局でも検討する。

○他の質問：「美作市の人口問題について」



◆都市計画の見直し等について

問 都市計画の見直しは、どのように進んでいるか。新庁舎へのアクセス道路の市道美作上相線の交通量増加が懸念されるが、歩道等の安全対策は。また、下流域の減災や財政に寄与すべく里山公園整備の地元検討会を立ち上げ、進めているが考えを尋ねる。

答 都市計画マスタープランの更新が今年6月頃の予定だったが、公表は令和7年度末以降にずれ込む予定。用途地域の変更は、令和8年度中の手続完了を目指したい。

市長答弁：重要な市道が、さらに安全になるために何が必要かを検討する。里山公園、都市公園の整備は、市としてもぜひ取り組んでいただきたい。市の財政基盤の一つである地方交付税交付金の増加となる。地元要望があれば柔軟に対応していきたい。

○他の質問：梶並川より西側の北山、豊国原、明見、檜原下地区及び周辺の防災計画等について、「市内の自治会等の公園などに遊具の設置は出来ないか」



◆美作市のAEDについて

問 AED設置場所の検索方法と配置について。

答 設置場所は、市ホームページに一覧表と位置情報を表示している。消防本部では、民間施設の設置も把握し、119番通報

により設置場所を案内できる。市では高齢者施設、公共施設等を中心に配置しており、市内全域に満遍なく配置する方針ではない。集会所やイベント等に対応する場合、自主防災会の活動補助制度（4分の3補助）が活用できる。効率的な設置のルール作りを検討する。



◆作東公民館設計業務について

問 令和5年9月補正予算に係る設計業者の頼末書（再発防止策）について。

答 消防法含め関係法令を熟知すること。構造上の問題では、最適策を繰り返し検討し、丁寧に仕事を進める。変更に伴う金額等の通知は、見込みを速やかに積算する対策をとると伺っている。

○他の質問：「美作市の管理するトイレについて」、「美作市建設工事等入札参加資格に係る指名停止等について」

審議結果 6月定例会

賛否が分かれた議案等の採決結果

議員名	審議結果	中谷祐輔	神原一寿	山本真樹	森元末信	田村秀昭	新免仁憲	角南良雄	西村大司	和田いさお	青山慶	和田広宣	西山正志	中山忠明	倉地重夫	金谷のり子	鈴木悦子	安藤功	山本雅彦
追加日程第1 鈴木悦子議員に対する議員辞職勧告決議について	可決	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	除	○	議
請願第2号 姫新線上下分離方式に関する請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議
請願第4号 介護保険の訪問介護基本報酬引き下げの撤回を求める請願書	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	議

●賛成：○ 賛成でない：× 除斥：除 退席：退 欠席：欠 議長：議（議長は表決に加わりません。）

●賛否状況は、議員の申告等に基づいて作成しています。 ●他の議案は全会一致で可決しました。

文教厚生常任委員会の報告

委員長 田村秀昭 副委員長 西村大司
委員 倉地重夫、金谷のり子、鈴木悦子、安藤功

6月13日開催【議案5件、請願2件】

議案第45号 美作市健康寿命を延ばそう条例の制定について【可決】

健康寿命延伸を目指す基本理念及び健康づくりの基本的事項等を明示するため、条例を制定するもの。

議案第46号 美作市立中学校、小学校及び幼稚園に関する条例等の一部を改正する条例について【可決】

英田幼稚園及び英田保育園について、令和6年9月24日付で新園舎への移転に伴い所要の改正を行うもの。

議案第47号 美作市介護老人保健施設条例の一部を改正する条例について【可決】

近年の物価高騰を鑑み、令和6年8月の介護報酬改定による基準

費用額の引上げに合わせ、作東老人保健施設の食費及び室料の利用者負担額を改めるもの。

議案第48号 美作市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例について【可決】

条例に規定する診察日、受付時間等を規則に委任するとともに、作東診療所の診療科目を改正するもの。

議案第53号 令和6年度美作市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)文教厚生委員会所管分【可決】

作東診療所において、胃カメラ用スコープ、婦人科検診等の備品購入費等7,800千円、検査医師の派遣負担金1,050千円。

請願第1号 子育て負担を減らし、笑顔が輝くまちを実現していく

ことを求める請願書【継続審査】

市立小中学校の給食費無償化、児童館等の居場所整備、高校生の就学支援制度の創設、これら請願の趣旨は理解できるが、財源の問題や市の子育て支援等を協議している「子ども政策会議」の進捗状況を踏まえ判断したいとの意見があり、継続審査とした。

請願第4号 介護保険の訪問介護基本報酬引き下げの撤回を求める請願書【趣旨採択】

請願趣旨は理解できるが、地方の事業所の実態にそった意見書を国へ提出することが大切であり、介護従事者の報酬は下げるのではなく上げるべきだと考え、趣旨採択とした。

主だった議案質疑内容

問 健康寿命を延ばそう条例に規定する健康推進委員会とは。その会の役割で「地域フレイル予防の啓発及び推進」とあるが、フレイルサポーターとのすみ分けは。市民の健康づくりの推進及び健康寿命延伸に関する

項目ごとの現状値、目標値を公表するとあるが、その内容について。



答 健康推進委員会とは、愛育委員会と栄養委員会を統合した組織

であり、令和7年度から新たに発足させる。現在、フレイルサポーター、介護予防サポーター、愛育委員、栄養委員の中には兼務されている方もおられ、すみ分けはしていない。目標値等の公表は、「みまさか心とからだの健康推進計画」の中に掲げている、健康づくりに関する分野ごとの目標値及び現状値の公表であり、健康寿命をどこまで延ばすかという目標値ではない。

問 英田保育園及び英田幼稚園の新園舎移転に伴い、同一敷地となるが名称はそのままとするのか。

答 令和7年4月1日に認定こども園に変更を予定しており、それまでは名称変更はしない。

産業建設常任委員会の報告

委員長 西山正志 副委員長 森元末信
委員 神原一寿、和田いさお、青山慶、中山忠明

6月14日開催【議案4件】

議案第50号 美作市公共下水道条例の一部を改正する条例について【可決】

下水道法施行令及び水質汚濁防止法施行規則の一部改正に伴い、排水の基準値を変更するため当該条例の一部を改正するもの。

議案第51号 市道路線の認定について【可決】

右手地内1路線、山手地内1路線の合計2路線を市道に認定するもの。

議案第52号 令和6年度美作市一般会計補正予算(第1号)産業建設委員会所管分【可決】

水道施設整備に伴う水道事業会計出資金305,500千円。

議案第55号 令和6年度美作市水道事業会計補正予算(第1号)【可決】

異臭対策機能強化及び中央監視装置に伴う通信網の整備によるもので、浄水設備改良費の委託料21,000千円、工事請負費590,000千円を増額。

主だった議案質疑内容

問 公共下水道条例改正の背景と、維持管理費用に影響はあるか。

答 検査技術の向上により、さらに正確な計測が可能となったことが今回の改正に繋がった。また、維持管理

の費用面については、以前と変わらない。



問 水道事業会計補正予算の中央監視装置改修工事の具体的な内容について。また、この改修

に伴い経費削減に繋がるのか。

答 市内の各水道施設からの通信線は、各支所及び浄水場に中央監視装置を設置しており、情報を集約するため一部NTT専

用の電話線を活用し、情報通信をしている。NTTの事業そのものが廃止されるため、これに代わり携帯電話を活用する方式を構築する事業となっている。

また、今後もNTTの専用線を利用する場合、2025年から徐々に通信料の値上げが予想されること、合併特例債が活用できること、これらを理由に補正予算に計上した。また、対象となる上水道と簡易水道を合わせた水道施設のNTT専用回線数は38回線で約300万円がかかっているが、更新改修し電波式にすることで、約100万円の減額と試算している。

問 予算規模が大きい異臭対策の接触槽増設の具体的内容、効果の期待度、工程について。

答 接触槽は修繕等も加味して、直径6m、高さ8m、200㎡の水槽を2基築造する。粉末活性

炭と原水を混ぜて貯留し、接触時間を稼ぐ方式である。粉末活性炭による異臭除去という工程では、原水と活性炭をいかに長く接触させるかが重要である。水道施設の維持管理指針においても「接触時間は少なくとも20分は確保することが望ましいが、効果を十分に得るためには1時間程度の接触時間を確保することが重要である。」と示されており、現在の装置は後から追加したもので、20分程度は接触時間を確保できる。異臭の発生を前提に浄水場を構築し、粉末活性炭を投入する場合、必ず接触槽を設置するようになっており、十分な接触時間を確保することで、確実に異臭物質を吸着して除去できるよう計画している。7月上旬に設計の発注、10月上旬に設計完了、11月上旬に工事の発注を予定している。大きな工事になるため年度内完了は困難であると考えており、翌年度に繰越す想定であるが、異臭発生は時期があるため、異臭発生時期を考慮しながら工事を進めていく。

総務常任委員会の報告

委員長 新免仁憲 副委員長 山本真樹
委員 中谷祐輔、角南良雄、和田広宣、山本雅彦

6月17日開催【議案4件、請願2件】

議案第49号 大芦高原国際交流の村設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について【可決】

大芦高原プールの使用料について、近年高騰している光熱水費及び人件費等の必要経費が料金へ転嫁できていないことから、使用料を増額し利用者に対して必要経費の公平な負担を求めるもの。

議案第52号 令和6年度美作市一般会計補正予算(第1号)総務委員会所管分【可決】

自治振興活動等補助金1,266千円、防火防災広報用資機材購入費1,000千円、F1ロードマラソン大会実行委員会補助金3,000千円、B&Gプール設備更新費9,020千円。

議案第53号 令和6年度美作市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)総務委員会所管分【可決】

保険証の更新の際に個人番号の下4桁を含む加入者情報を併せて特定記録郵便で通知する必要があるため、特定記録郵便に係る経費として553千円を増額。

議案第54号 令和6年度美作市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)【可決】

保険証の更新の際に個人番号の下4桁を含む加入者情報を併せて特定記録郵便で通知する必要があるため、特定記録郵便に係る経費として975千円を増額。

請願第2号 姫新線上下分離方式に関する請願書【不採択】

現時点での議論は時期尚早であり、将来展望も難しいのではない

かとの反対討論があり、不採択とした。

請願第3号 本人通知制度の登録期間を無期限に変更することに關する請願書【継続審査】

先行地の研究をしたい、無期限に変更した場合の運用実態の説明を求めたいとの意見があり、継続審査とした。

主だった議案質疑内容

問 補正予算の防災広報用備品購入費の内容と目的について。

答 備品は、DVDプレーヤー、プロジェクター、ワイヤレススピーカー、防火防災DVD等の視聴覚資器材。消防本部で保管し、各団体の防火防災の講習等に広く活用する。

問 国庫補助金による自治体プラットフォームの更新は、マイナンバーカードの関係事業なのか。

答 今回の整備により当面更新は必要ないのか。

問 マイナンバーカードを通じた情報照会の際、自治体独自サー

バーへの直接照会ではなく、中間サーバーを通して情報の連携を行う。今回の事業(補正予算)は中間サーバーの更新費用である。更新期間は概ね5年を見込んでいるが、仕様に変更等があった場合は更新することになる。

問 F1ロードマラソンの参加者が年々減少しており、市内企業等への募集案内も必要と考えるが、今後の取り組みの方針は。

答 令和5年度の参加者数が1,211人だったことを踏まえ、マラソン専用の応募サイトへの情報提供等、PRをしつかり行い、1,400人から1,500人の参加者を確保したいと考えている。大会運営では、ゲストランナーに湯郷ベールの選手や有名スポーツ選手等の招へいや豚汁サービスの実施等、魅力ある大会となるよう取り組みたい。

美作市庁舎・文化施設・防災公園 建設特別委員会の報告

委員長 和田広宣 副委員長 森元末信 委員 全議員

新庁舎工事及び関連事業の進捗状況について概要をお伝えします。

新庁舎周辺の複数工事を並行して行っているため、工程調整や物価高騰に伴う資材不足と人手不足も加わり、新庁舎建設工事では2カ月程度の遅れが生じています。庁舎完成後には、市政20周年記念式典と併せて落成式を来年2月上旬に新庁舎で行う計画であります。その後にシステムの構築や備品等設置に約3カ月程度を要し、庁舎機能を止めることにはならないため、引越作業は閉庁日に行う必要があり、新庁舎は来年5月の連休明けの開庁が予定されています。

新庁舎の請負代金については、物価高騰に伴う増額の他、議場システム、情報機器の通信速度、耐震性能の強化、障がい者の安全確保等を目的にした機能強化によ

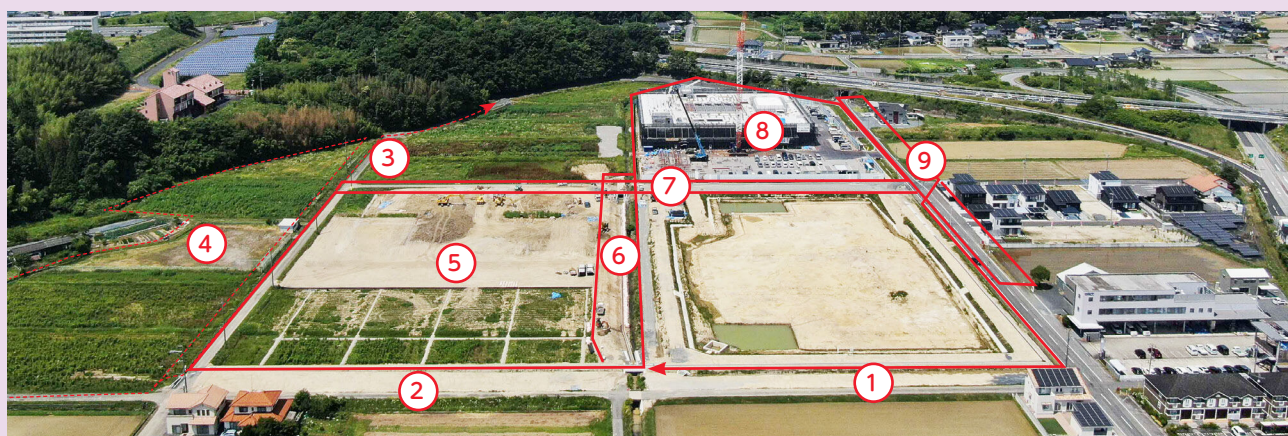
る増額項目がある一方で、受注者提案のコスト削減項目もあり、9月補正予算に向けて精査するとの説明がありました。

新庁舎・防災公園区域における新たな字名の設定については、市内の小中学生181名から応募があり、その中から4作品を選出しています。今後は、小中学生の投票により字名を決定し、9月議会での議案提出を予定しているとの説明がありました。

文化施設については、ホール型か、図書館中心の文化施設か、コスト面や子育て世代等、利用者の意見を聞き検討しており、庁舎整備が終わる頃、市としての方針を決めることが予定されています。

防災公園については、地元要望の身近で行きやすい公園建設等、第2期計画として防災公園の拡大も考える必要があるとの説明がありました。

新庁舎・周辺工事の進捗状況について (6月18日現在)



- ①・②豊国原用水路の移設工事が4月に完了
- ③防災公園内道路の測量設計中
- ④防災公園造成の測量設計中
- ⑤防災公園2工区の造成工事中
- ⑥中央排水路の改修工事中
- ⑦防災公園道路、新庁舎南側の道路工事中
- ⑧新庁舎建設工事中
- ⑨市道豊国原北山1号線改良工事を予定



▲工事状況写真(6月中旬)

9月定例会日程(予定)

9/6 (金) 本会議 (開会)	9/17 (火) 本会議 (議案質疑)
9/10 (火) 本会議 (一般質問)	9/19 (木) 常任委員会
9/11 (水) 本会議 (一般質問)	9/20 (金) 常任委員会
9/12 (木) 本会議 (一般質問)	9/24 (火) 常任委員会
9/13 (金) 本会議 (一般質問・議案質疑)	10/2 (水) 本会議 (閉会)

正式には議会運営委員会で決定し、みまちゃんネルデータ放送と美作市ホームページに掲載いたします。本会議は、みまちゃんネルで生放送いたします。また、本会議当日の夜も再放送いたします。

請願・陳情について

市政に対して要望があるときは、請願・陳情を市議会に提出することができます。

請願書の提出には議員の紹介が必要となりますが、陳情には議員の紹介はありません。

議会で受け付けた請願・陳情は、関係する委員会で審査し、本会議で採択されたものは、執行機関に送付いたします。本会議開催前には締切日が定められますので、詳しくはお問い合わせください。

なお、請願・陳情に記載された個人情報につきましては、本会議での請願・陳情の付託の議事や委員会での審査に用いるほか、請願・陳情の内容等の問い合わせに使用することがあります。また、提出者の個人情報が記載された文書は、本会議や委員会で議員のほか市長その他執行機関の関係職員に配布されます。

議会事務局 ☎0868-72-0922

市議会からのお知らせ

本会議(定例会・臨時会)は、どなたでも見たり、聞いたりすることができます。

本会議の傍聴を希望される方は、市役所4階の議場受付で住所・氏名等を記入の上、入場してください。傍聴者には傍聴券を交付します。

市議会の本議会がみまちゃんネルとインターネット(YouTube)でご覧いただけます。

※インターネットで閲覧できるのは代表質問、一般質問に限ります。

インターネットで閲覧される場合は、YouTubeで次の内容を検索してください。

岡山県美作市議会公式チャンネル 検索



岡山県美作市議会
公式チャンネル

編集後記

6月定例会において「美作市健康寿命を延ばそう条例」が全会一致で可決致しました。

この健康寿命に特化した条例は、県内では初めての条例であり、全ての市民が生涯にわたり、いきいきにこにこ笑顔で暮らし続けられる美作市を目指すことを目的としたものであります。議会としても条例可決のみとせず、様々な取組への支援や提案を検討すべきと私は考えております。最後に、今後も議会だよりを通じて市政・議会の新たな動きをわかりやすく報告してまいります。まだまだ残暑厳しい折柄でございます。皆様におかれましては、体調を崩されませんようご留意ください。

(山本真樹)

議会だより発行特別委員会

委員長 中山 忠明

副委員長 中谷 祐輔

委員 神原 一寿

委員 山本 真樹

委員 西村 大司

委員 倉地 重夫